

中学生時代、故郷の浅間山のふもとでも、この時期は田植えは終わっていると思う。あの頃は田んぼに入る機械は無かった。人力以外はせいぜい馬の力に頼った。そんなことで、耕運機、田植え機を見たときはたびびっくりした。特に田植え機については本当にびっくりした。一ぺんにいくつもの苗を猛スピードで植えていく、しかも等間隔、これこそ革命だ。

これまでは「田植え」となれば一大イベントだ。親戚一同を集め中学生以上も田に入れる者を集め人海戦術でやるしかなかった。もちろん中学生もおばあちゃんも。

今では田植えの前の田んぼは耕運機が活躍する。土を掘り起こしていくその後をムクドリが飛び出した虫を拾ってついていくこんな光景を目にしたことがある。

ところで、「早乙女がも裾濡らして」これが気に入った。情緒豊かな情景がうかぶようだ。でも、もう、人海戦術はなくなったし、早乙女が裳裾をぬらすこともない。

早乙女 19/7/9 Hidekuro

